表1 本工業会が推奨する布基礎とフラット35対応の布基礎の比較

		推奨布基礎	木造住宅工事仕様書 平成24年版 フラット35対応
立上り部分の厚さ		150mm	120以上、150mmを標準
立上り部分の高さ (地上部分)		400mm以上	400mm以上
根入れの深さ		250mm以上かつ 凍結深度より深いもの	240mm以上かつ 凍結深度より深いもの
基礎の底盤厚さ		150mm	150mm以上
基礎の底盤 (ベース)幅		地盤の長期許容応力度が 30kN/m ² 以上50 kN/m ² 未満の場合: 600mm(2階建を想定) 地盤の長期許容応力度が 50kN/m ² 以上の場合: 450mm(2階建を想定)	450mm以上
コンクリートの設計基準強度F _c		21N/mm ² 以上、30N/mm ² 以下	呼び強度24N/mm ²
配筋	立上り部分主筋	1-D13	1-D13以上
	立上り部分補強筋	D10@227.5以下	D10以上、@300以下
	立上り部分腹筋	D10@300以下	—
	底盤の 補強筋	主筋 配力筋	D10@227.5以下 D10(両端部)

アンダーライン:フラット35Sの種類に応じて適用となる事項

表2 本工業会が推奨するべた基礎とフラット35対応のべた基礎の仕様の比較

		推奨べた基礎※3	木造住宅工事仕様書 平成24年版 フラット35対応
立上り部分の厚さ		150mm	150mm以上かつ土台の幅以上
立上り部分の高さ(地上部分)		400mm以上	400mm以上
根入れの深さ		170mm以上かつ凍結深度以上	120mm以上かつ凍結深度以上
コンクリートの設計基準強度 F _c		18N/mm ² 以上、30N/mm ² 以下※4	呼び強度24N/mm ²
基礎外周部の立上り寸法		570mm以上	その他の構造方法については、 構造計算によるものとし、特記による。
内部立上り寸法		470mm以上	
基礎の底盤厚さ		150mm	
配筋	立上り部分主筋	1-D13	
	立上り部分補強筋	D10@200	
	底盤の補強筋	短辺長辺D13@200(軽い住宅)※1 短辺長辺D13@150(重い住宅)※2	

アンダーライン:フラット35Sの種類に応じて適用となる事項

※1 軽い住宅とは、金属板葺き等の屋根、サイディングの外壁等、軽い仕上げの住宅をいう。

※2 重い住宅とは、瓦屋根、モルタル仕上げの外壁等の重い仕上げの住宅をいう。

※3 「軽い住宅」と「重い住宅」の2種類の荷重条件下で、耐力壁線区画4m×6m、スラブ厚さ150mmの4辺ピン支持
または4辺固定として構造計算を行い、スラブ配筋を決定。

※4 呼び強度24N/mm²に対応するため、現在、改訂作業中である。